

# 「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～令和4年度スタートです！問題！この人は誰でしょう？～

令和4年度がスタートします。今年度も県高生の「ほっと一息。」になればと生徒指導部通心（信）を発心（信）していきます。是非読んでくださいね。

さて、第1号は・・・君たちに問題です。この人物は誰でしょう。

あるマンガ家志望の若者です。彼が17歳のとき、短編マンガが準入選に選ばれ、担当編集者がついてくれることになり、気をよくした彼は九州から東京に上京してきます。

当時は、すぐトップになれるぐらいの気持ちだったそうです。・・・しかし、甘くはなかった……。

作品のネーム（あらすじ）を提出しても全然通らない。連載にはあたりませんでした。

「描いても描いてもボツになる。描いても描いてもボツになる。描いても描いてもボツになる。」

さすがに自分の力のなさに気づいて、そうすると壁がどんどん高く見えてくるわけです。

1週間で19ページも面白いマンガを描き続けるなんていうのは、人間にできる技じゃない。

マンガ家になるべくして生まれた人にしかできないことなんだと思うようになって、ショックでしたよ。」

さて・・・この人は誰でしょう？

**描いても描いてもボツになる。描いても描いてもボツになる。描いても描いてもボツになる。**

彼は、ついには、倒れて1週間ほど体が動かなくなったそうです。

もう、マンガ家になることを諦めようとした。九州に帰って、サラリーマンに今からなれるかなとも考えた。

でも、そのとき、当時の担当編集者がこう言葉をかけてくれたのだとか。

**「こんなに頑張っても報われなかったヤツを俺は今まで見たことがない！」**

**必ず報われる日がくる、と……。」**

ケンカばかりしていたその編集者が、ふと言ってくれた言葉に彼は泣いた……。

**「また頑張れるぞ！」**

気力が湧いてきた。

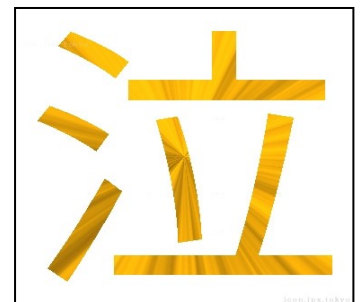
「泣く」という文字は・・・「涙」の「サズイ」に……

『「立」ち上がる』と書きます。

涙のあとに立ち上がり……彼が描きあげた作品が……そう……

あの……国民的……マンガ……

**『ONE PIECE』（ワンピース）** なんです。



彼の名前は・・・はい・・・そうだね……

尾田栄一郎さんです

人生というシナリオには法則があるそうです。

トコトンまで頑張って・・・それでも結果は出す……

**「もうダメだ」と力尽きるその瞬間に……あなたの人生を一変するシーン（名場面）と出会うようになっているのです。**

まさに『ONE PIECE』の世界観そのものです。

人は、力尽きるころまで頑張ったとき、尽きることのない無限の力が湧きあがるのです。・・・さあ令和4年度スタートです！

